

平成二十四年度 夏季 鎌倉俳句&ハイク

季節 「夏」

期間 平成二十四年五月一日～平成二十四年七月末

投句数 三、二一五句

特選三句

天

青嵐山門寂とありにけり

神奈川県平塚市 小野寺信雄

地

宮太鼓遠く卯浪の匂ふ古都

東京都世田谷区 坂野民子

人

鎌倉の海の色せし四葩かな

千葉県銚子市 多辺田 操

入選句

一般の部

あぢさゝみで会話が弾む寺めぐり

千葉県千葉市花見川区

朝井典子

鎌倉の石碑をめぐる大暑かな

神奈川県鎌倉市

伊藤俊昭

鎌倉の山はればれと若緑

埼玉県春日部市

岩崎好

薔薇園にしあはせの刻すぎ易し

東京都新宿区

大森道生

海を背にのぼる坂道風涼し

埼玉県朝霞市

加藤麗未

妙法寺苔石段の梅雨じめり

神奈川県横浜市泉区

桑谷京子

梅雨寒や抹茶で憩ふ竹の寺

神奈川県鎌倉市

篠田つ、み

鎌倉のどの道ゆくも皆涼し

神奈川県逗子市

佐藤信子

降り立てば古都新緑の段葛

埼玉県春日部市

正能文男

夏帽の重なり合ひて銭洗ふ

神奈川県横浜市青葉区

寺橋正光

一筋の風に誘はれ籐寝椅子

千葉県船橋市

前原慶輔

老鶯や直筆並ぶ文学館

奈良県生駒市

松原かな子

濡れ光る窟の石仏梅雨晴間

神奈川県横浜市旭区

柳沢栄蔵

螢火の閑かに去りし源氏池

群馬県高崎市

中島弘子

矢倉背に密かに咲けり岩煙草

東京都大田区

山田隆紀

(順不同)

入選句

子どもの部

万緑の中に浮きでる五山かな

東京都品川区

石田元輝

夏休みみんなで行こう鎌倉へ

神奈川県川崎市多摩区

稲葉七海

大仏はあせもかかずにすわってる

東京都杉並区

岩見優

バラ達は美女の名前をほしいまま

東京都板橋区

大門幸恵

炎天下鎌倉巡り寺社巡り

東京都世田谷区

太田翔

梅雨の中頼朝様に会いにゆく

神奈川県横浜市神奈川区

小山田優真

あじさいやひかりあつめてかがやいて

神奈川県横浜市都筑区

加藤優美

新緑に大仏様がまぶしそう

東京都杉並区

北村美織

人力車炎昼の中かけめぐる

千葉県千葉市若葉区

佐々木海翔

子供の日みんな元気に鎌倉へ

東京都品川区

羽坂凜

ふうりんが旅のつかれをいやしてる

群馬県伊勢崎市

榛澤春哉

初夏の風小町通りをふきぬける

神奈川県川崎市中原区

平野雄生

お弁当ねらうトンビと初夏の風

東京都町田市

細田友里

大仏の頭の上は初夏の空

神奈川県川崎市中原区

松下公祐

夕焼けにきれいに染まる円覚寺

東京都目黒区

山本敏嵩

(順不同)